

**Amandari's Annual
Temple Ceremony
アマンドリの例年行事
寺院のセレモニー**

バリ島には、文化的な組織が広がるヒンドゥー教の独特な儀礼をはじめ、宗教的に受け継がれたものが数多く残っています。様々な儀式は、清めるため、そして人間の世界やその環境と神々の世界との関係を調和するため、バリの暦に従って寺院とその付近で行われます。

Purnama Kedasa (プルナマ・クデサ) は、アマンドリ寺院の記念祭として、バリ島の 10 周目の太陰月の満月にあたる日 (今年は 2009 年 4 月 9 日) に毎年行われる祝いの儀式です。アマンドリとクデワタン村の住民にとっての特別なイベントとして、近隣の人々と協力しながら進められます。

4 月 1 日より、アマンドリ寺院では、この恒例の儀式のための準備をはじめ、本番に備えます。儀式の目的は、第一に清めること、そして当ホテルの建物の調和、つまり安定を願うことです。儀式は、目には見えない共同体やアマンドリに住み着く魂による調和の存在を確かなものとするため、すべての生活における形態と要素に捧げられます。

プログラム

2009 年 4 月 8 日 午後 7 時

Lecture by Panji Tisna

(パンジー・ティスナ氏による講演)

孤獨な火山島から 300 万人を超える人口へと拡大したヒンドゥー文化の生える現在までのバリの発展を解説いたします。

2008 年 4 月 9 日

終日

この日は縁起のよい日として、バリ・ヒンドゥー教の総本山であるブサキ寺院をはじめ、バリ島内の多くの寺院にて儀式が行われます。



Mecaru (清めの儀式)

午前 10 時—11 時

地元の僧侶とともに、清めと調和の儀式に参列し、色鮮やかな一場面をお楽しみください。

Tabuh Rah (闘鶏)

午前 10 時—11 時

ささやかな生け贄として闘鶏が開催されます。アマンドリの土地に垂れ落ちる血が、魂と邪悪な存在をもてなすことによって、次の年も当リゾートを守ってくれると信じられています。

Mendak Tirta (聖水の収集)

午前 11 時

アマンドリのスタッフと村民が、聖水と儀式に使われる道具を運びながら、クデワタン村にある主要の寺院から 10 分程の行列をなしてアマンドリ寺院へと戻ります。これは、ピオダラン (最高の儀式) の前に必ず行われる儀式です。

Piodalan (最高の儀式)

午後 1 時半—4 時

この重要な儀式では、神が民のもとへ降りてこの祝いに参加するよう、呪文を唱えます。また、聖水の恩恵がすべての参拝者に散水されます。神への祈りに続いて、数種類の異なったバリ舞踊で神をもてなします。例えば、パリス・ダンスと呼ばれる戦士の舞、女性だけで演じられる優美なレジャン・ダンスなどがあります。

Children Dance and Gamelan

午後 6 時

(チルドレン・ダンス&ガムラン)

イブ・アグン (舞踊講師) と彼女の夫であるパパツ・アグン (音楽講師) は、13 年前からアマンドリの近所に住む子供たちに舞踊と音楽を教えています。舞踊と音楽は神々のために捧げられ、また芸能を伝承するためにも大切にされています。10 歳前後の子供たちで構成されたトパティ村の「マンディラ・サンディ」と呼ばれるガムラン一団が、週 2 回、3 年間の練習を重ねた成果を披露します。

2008 年 4 月 10 日

半日

Nyineb (閉会の儀式)

午後 2 時

最後の祈りが捧げられます。そして、ホテルのロビーにて、長年愛され続けているライオン・ダンスが披露され、儀式は終了となります。

Film by Dr Lawrence Blair

午後 9 時

1970 年代にブレアー兄弟がインドネシアを旅した際の冒険記録 (映画) をご覧ください。

2008 年 4 月 11 日

午後 6 時半

Doug Myers Dance

(ダグ・メイヤーズ・ダンス)

ヤヤサン・ポロセニによる 5 種類の異なるバリ舞踊を上演します。この舞踊団は、子供たちに伝統的な舞踊と音楽を教える活動を行っています。また、アマン・インドネシアの CD 制作にも携わっています。